

～「真珠のようにきらり輝く鳥羽」をめざし～

市民がいきいきと活躍できる地域共生社会の実現と
海洋資源を活かした産業振興に取り組みます

企画財政課財務係 ☎ 251121

令和2年度の当初予算をお知らせします 総額 216億6,147万円

令和2年度の当初予算が可決されましたのでお知らせします。

一般会計予算は124億2,600万円で、前年度に比べ9.1%増となっています。また、国民健康保険事業などの5つの特別会計予算は合計で70億5,180万円、水道事業会計予算は21億8,367万円で、これらの会計を合わせた予算総額は216億6,147万円となります。

一般会計予算の概要

「真珠のようにきらり輝く鳥羽」の実現を目指し、市民がいきいきと活躍できる地域共生社会の実現と、海洋資源を活かした産業振興に重点的に取り組む予算編成を行いました。

重点施策

- 人口減少・少子高齢社会への対応
- 持続可能な市内産業の育成
- 地域の価値を上げる、地域で稼ぐ力をつける
- Society5.0の実現
- 地方創生を加速する

令和2年度 鳥羽市予算

(単位：千円)

会計名	令和2年度	令和元年度	前年度比較		
			増減額	伸率 (%)	
一般会計	12,426,000	11,387,000	1,039,000	9.1	
特別会計	国民健康保険事業	3,054,600	2,949,000	105,600	3.6
	介護保険事業	2,696,000	2,721,900	△ 25,900	△ 1.0
	定期航路事業	604,400	634,300	△ 29,900	△ 4.7
	特定環境保全公共下水道事業	162,000	145,600	16,400	11.3
	後期高齢者医療	534,800	508,590	26,210	5.2
	小計	7,051,800	6,959,390	92,410	1.3
企業会計	水道事業	2,183,670	2,038,305	145,365	7.1
合計	21,661,470	20,384,695	1,276,775	6.3	

市民一人当たりで計算すると ...

負担するお金	※市税約 28 億円を 3 月 31 日現在の人口 18,271 人で割ったものです。
市税 155,648 円	

使われるお金		
議会費	議会の運営など	7,482 円
総務費	市全般の管理事務など	130,591 円
民生費	高齢者福祉、児童福祉など	168,613 円
衛生費	保健衛生やごみ、し尿の処理など	77,542 円
農林水産業費	農林水産業の振興など	17,285 円
観光商工費	観光、商工業の振興など	18,498 円
土木費	道路、河川、都市計画など	75,918 円
消防費	消防、救急、救助など	60,045 円
教育費	小・中学校や幼稚園の整備など	41,620 円
公債費	市の借入金の返済	73,429 円
その他	災害復旧費用ほか	9,072 円
合計		680,095 円

※目的別の予算を 3 月 31 日現在の人口 18,271 人で割ったものです。

令和 2 年度予算額を家計簿にすると！！

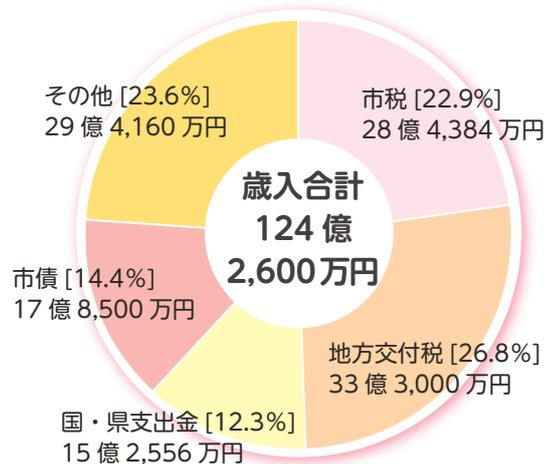
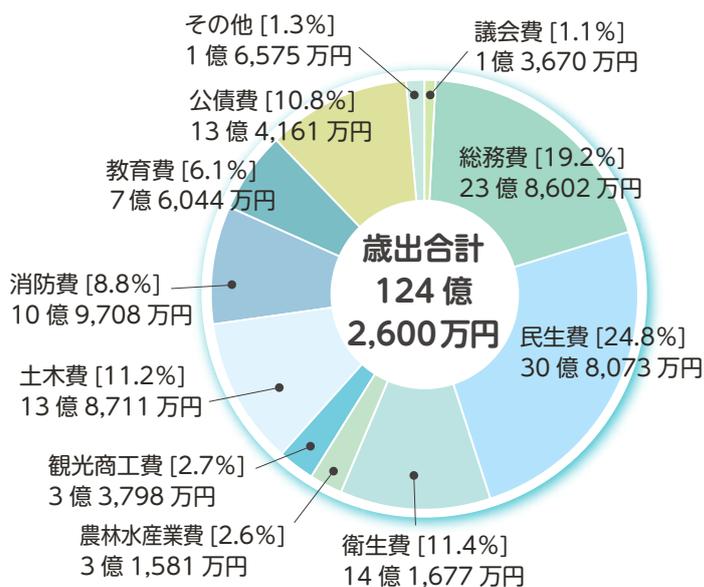
令和 2 年度一般会計予算額をわかりやすくするため 3 万円の 1 に圧縮して家計の 1 か月分にしてみました。

収入	
2 年度一般会計予算	家計簿
市税などの自主財源	月収（給料など）
52 億 4,323 万 4 千円	174,774 円
国・県支出金などの依存財源	親などからの援助
53 億 9,776 万 6 千円	179,926 円
市債などの借入金	借入などで賅っている額
17 億 8,500 万円	59,500 円
うち建設的な市債	うち住宅借入
14 億 8,500 万円	49,500 円
うち特例的な市債	うち生活借入
3 億円	10,000 円
収入計	収入計
124 億 2,600 万円	414,200 円
資産の状況	
基金※	預貯金
19 億 258 万 5 千円	63,420 円

※基金は前年度末見込額

一般会計予算 124 億 2,600 万円

前年比 9.1% (10 億 3,900 万円) 増額



支出	
2 年度一般会計予算	家計簿
公債費	借入の返済
13 億 4,161 万 3 千円	44,720 円
人件費	生活必需費
26 億 2,244 万 1 千円	87,415 円
扶助費	家族の医療費
12 億 4,531 万 6 千円	41,511 円
物件費など	光熱水費など
16 億 8,271 万 3 千円	56,090 円
投資的経費・維持補修	自宅の新築・増改築
23 億 2,416 万 1 千円	77,472 円
補助費など・出資金・貸付金	町内会費など
13 億 2,552 万 7 千円	44,184 円
繰出金	子どもなどへの仕送り
12 億 1,770 万 4 千円	40,590 円
積立金	貯金
6 億 6,652 万 5 千円	22,218 円
支出計	支出計
124 億 2,600 万円	414,200 円

市債残高※	借入残高
122 億 7,094 万 5 千円	409,032 円

※市債残高は前年度末見込額

令和2年度に取り組む主な事業を紹介します

新型コロナウイルス感染症対策として4月1日から実施した宿泊事業者緊急対策事業など、今後も必要に応じて予算の見直しを行う場合があります

人口減少・少子高齢社会への対応

●人との関わりで地域を活性化する

子育て支援事業 16,299 千円

- ・妊婦歯科健診
- ・風しんワクチン・乳児ロタウイルスワクチン接種費用の一部助成
- ・虐待等防止ネットワーク事業（相談員1名増員）
- ・学校図書館整備事業
- ・英語教育の充実



移住・定住促進事業 18,563 千円

- ・鳥羽への移住・定住応援事業
- ・移住相談支援事業
- ・伊勢志摩移住プロモーション事業
- ・定住促進住宅整備事業
- ・住宅運営管理（市営住宅DIY）

関係人口の創出 7,103 千円

- ・ふるさと鳥羽関係人口創出事業（鳥羽ファンづくり）
- ・6次産業化推進事業（海藻文化の推進）

持続可能な市内産業の育成

●地域経済の循環

漁業と観光の連携 4,600 千円

- ・漁業と観光の連携による産業振興
- ・海洋資源調査などによる水産資源保護
- ・漁業就労応援事業



地域生活支援 5,296 千円

- ・買い物弱者支援、移動販売車運営事業

●事業の継続支援

事業承継支援 9,895 千円

- ・中小企業支援事業
- ・起業育成支援事業
- ・小規模事業者経営改善資金利子補給補助事業
- ・地域のしごと魅力発信事業
- ・海女漁業応援事業
- ・海女労務環境整備事業



海女文化の継承 8,211 千円

- ・海女文化継承啓発事業
- ・地域おこし協力隊事業



地域の価値を上げる、地域で稼ぐ力をつける

●地域の価値を上げる

地域の価値向上 20,132 千円

- ・芸術を活かした観光振興
- ・旅行商品
- ・プロモーション戦略事業

●地域で稼ぐ力をつける

域内好循環 5,800 千円 再掲

- ・漁業と観光の連携による産業振興
- ・海洋資源調査などによる水産資源保護
- ・漁業就労応援事業

財源の確保 247,074 千円

- ・ふるさと納税推進事業
- ・新しい財源確保の研究・調査



ソサエティ Society 5.0 の実現

●AI・ICTなどのスマート化の推進

AI・ICTの活用 336,641 千円

- ・防災行政無線デジタル化整備
- ・市税納付における新決済方法導入
- ・多言語観光案内アプリによる離島観光の受け入れ環境整備
- ・高度情報通信システム利用教育推進
- ・コンピュータ教育推進
- ・鳥羽高校活性化支援事業
- ・鳥羽商船高等専門学校や民間企業とのICTやAIを活用した地域課題解決のための連携



地方創生を加速する

●地方創生を加速する



とばびと活躍 25,352 千円

- ・地域共生社会の推進
- ・とばびと活躍の後押しを推進
- ・地域のためにがんばる団体を応援

海藻文化革命 5,251 千円

- ・水産研究所維持管理業務（海洋教育の拠点、海の政策観光構築）



パークリノベーション 68,792 千円

- ・中央公園施設整備事業
- ・運動施設管理運営事業
- ・図書館運営事業



地方創生を加速させるための施策 中央公園一帯のリノベーション

明るく使いやすく生まれ変わりつつある鳥羽中央公園一帯で行う事業について紹介します。

市では、鳥羽中央公園が市民や来訪者のみなさんの交流拠点として、より魅力ある公園となるよう改修プランを考えています。これに先がけて市民体育館のメインアリーナがリニューアルし、サブアリーナも9月末日の完成を目指しています。鳥羽中央公園一帯では大規模なハード整備事業と共に、さまざまな事業の展開を図ることにより、にぎわいを創出していきます。

2020年 元気を生み出す公園づくりがはじまります 訪れる『ヒト』が『ゲンキ』になり、『マチ』の『ゲンキ』をつくる

中央公園一帯では、健康寿命の延伸・介護予防、交流人口・関係人口の増加、地域共生社会の実現につながるよう、快適な空間づくりを行います。

